



ベトナム情報レポート（2022年9月30日）

（公財）大阪産業局 ベトナムビジネスサポートデスク
株式会社NCネットワーク

【FBC アセアンものづくり商談会】

8月24日より3日間ハノイにてFBC アセアン 2022 ものづくり商談会（ベトナム会場）が開催されました。しかしながら、日本からの出展社数、来場者数は、コロナ前に開催された同イベントと比べると少なくなりました。その大きな理由は、日本の水際対策が厳しく、日本への帰国に際し、帰国 72 時間前の PCR 検査証明書が必要なため、もし陽性反応になった場合、陰性になるまでベトナムで足止めされてしまうリスクを懸念してのことだったようです。ちょうど会期中の 8 月 24 日に、9 月 7 日から日本への入国に際し PCR 検査証明書を撤廃するとの発表がありました。今後はさらに海外への渡航が増えると思えます。

この商談会は会場を使ったブースでの実商談が 8 月 24 日～26 日、9 月 7 日～9 日はオンライン商談となっており、同日開催のタイ会場での出展企業や渡航できなかった日本企業と離れた場所の企業同士が商談できるシステムとなっています。会場を使った商談会は 2 年ぶりという事で、会場出展社は 200 社近くで過去最大となり、内日系企業は約 60 社でした。出展社は主に部品加工をしている中小製造業がメインです。各企業自社製品の売り込みがメインですが、調達案件を持っている企業もあり、売りも買いも両方のニーズを持った企業が多数出展していました。また、調達先探しだけのために参加しているバイヤーも出展していました。ローカル企業の出展は年々多くなっており、この商談会で活発な情報発信をしようとブース装飾、部品展示にもスタッフの工夫や意気込みが感じられ、会場も活気のある雰囲気がありました。

中国からの外注先変更やベトナムへのオーダーが増えている状況で、新たな取引先や同業他社との協業、自動化や製造業に提供される IT をはじめとした様々なサービスが今後もベトナムではコロナ前と同じように活発に動いていくと思えます。